

フレーベル會總會

本會第十七回總會は四月二十一日午前九時半から東京女子高等師學校附屬幼稚園に於て開かれました。當日は晚春新綠の好晴で、午前は殊にすがくしく快よい日でした。來賓、會員、特に當日の聽講の方々など定刻には堂に充ちて、靜かな併し如何にも樂しい會でした。花で飾られたフレーベル先生の肖像はその百三十回の誕生日を、此の東洋の子供を愛する國で、斯くも床しい人々に祝される如何にも喜んで居らる様に見えました。先中川會長が開會の挨拶を述べられ、安井幹事より前年度の庶務會計の報告あり、次に大瀬甚太郎氏の「フレーベルに就て」と題する有益な講演がありました。其の筆記は本誌に掲げてあります通り、廣くフレーベルの生涯、思想、事業に涉つて、當日に最もふさはしき且つ感興深きお話でありました。次に小河法學博士の「兒童保護の中心」と題する講演がある筈でしたが、博士は公務の爲遠く御出張中で如何とも已むを得ず。殊に博士のお差支へが總會の前たつた一日になつて通知せられた爲、更めて他の方にお願ひしても御都合悪く、是非なく倉橋幹事が代つて講演することになりました。之れも本誌に載せてあります。講演後遊園のこゝかしこ

に備へた茶菓に閑談をする人々もあり、別室に陳列した陳列品を觀る人々もあり。隨意に散會しました時に正午。此日の來賓の中には理學博士坪井正五郎氏、ドクトル富士川游氏其の他知名の士教育に關係ある雜誌諸新聞社の方々も多く見えました。會員としては高濱きみの、戸田しづの兩保姆が遙々大坂から出張來會せられたのを始めとし、新潟、足利、古賀、成田、埼玉、横濱、其他東京市外より志ある來會者方が尠くありませんでした。遙々お出下さつた方々に何のわからひも申上ませんでことは甚だ失禮であります。

又陳列品には教育博物館、久留島武彦氏、學習院女學部附屬幼稚園、東京女子師範學校附屬幼稚園、坂本小學校、東城小學校、誠之小學校の各附屬幼稚園、二葉幼稚園及び特に静岡幼稚園其他からいづれも有益なる御出品をなさつて下さつたことは誠に會の厚く感謝する處であります。之れ等の出品中研究事項に關する表等は成るべく本誌上に掲載さして廣く其の益を頗ち度いと思つて居ます。

靜岡縣保育會大會

同會は四月二十八日同縣清水町に於て開かれました。午前は縣内諸幼稚園より提出の問題につき有益なる討議あり、午後は倉橋本會幹事の講演ある豫定であります。其の會況は本號大切に間に合ひませんでしたが、米月號に詳しく述べて載せてあります。

京坂神三市聯合保育會大會

毎年盛大にして有益なる會合をせらるゝ京都大坂神戸三市の聯合保育會大會は今年は六月二日を期し神戸市に於て開催せらるゝ筈之れ亦本誌上に於て詳しい御報道をする積りであります。

お願ひ

春季は各地保育會に於ていろいろ御會合のある時であります。其の御様子の御通信を得ることは私共の是非希ぶ處であります、どうぞ多少なりとも御知らせを願ひます。

本會夏期講習會

本會主催の保育に關する夏期講習會は本年も八月一日より七日迄東京女子高等師範學校内に開催の豫定であります。講師其他詳細は次號に廣告致します。

小兒救急手當法講習會

本誌廣告欄に廣告の通り、此の必要の問題についての講習會を本月十五日より開きます。醫學的救急法の知識なしで子供の世話をして居るのは隨分亂暴といへばいへる話で、現に時々困却することも、自らも殘念に、子供には氣の毒な思ひをすることがあります。多數の方々是非々御來會を切望するのであります。

○本誌定價	◎一冊郵稅共金拾一錢	◎六冊前郵稅共六拾錢
◎拾二冊同金壹圓貳拾錢	◎郵券代用一割増	
○購讀申込	本誌購讀御希望の方は右定價表により振替寄金にて御拂ひ込み下さい。直に御送本致します。(振替口座東京一七二六六番)	

○本會宛御用務

本會宛諸般の御用務は左の如く願ひます
(イ) (庶務上保母紹介に關する件をも含む) の御手紙は
東京市小石川區久堅町七十四番地フレーベル會事務所宛
(ロ) 會計事務は東京女子高等師範學校附屬幼稚園内、
(ハ) 本誌編輯の御用務(寄稿、廣告等)は東京府下千駄谷八七八倉橋惣三宛

明治四十五年五月一日印刷

明治四十五年五月五日發行

編輯兼發行者 東京府豊多摩郡千駄谷町大字千駄谷八七八
印 刷 者 東京市本所區番場町四番地

登 橋 忠 平

印 刷 所 東京市本所區番場町四番地
凸版印刷株式會社本所分工場
發 行 所 フ レ 一 ベ ル 會